

として、いろいろな、導入・フォロー研修が行われている。

①多くの信徒の参加を望む

b. 分ち合いに参加して

(a) 横浜教区の教区経済問題評議会との分ち合いでの問題点は

- ① 月定献金の増収方策は、時代の変化等で困難
- ② 財務処理面では、教区大のコンピューター集計に伴う教会報告の複雑
- ③ 外国人(両親と言葉の弊害・子供の要理学校教育)問題・駐車場問題

(b) 教会建物委員会との分ち合いでの問題点は

- ① 狭隘・老朽化による建替え問題(教会の統廃合は別問題)
- ② 信徒数の少ないところは、返済計画が困難

(c) 神奈川県共同宣教司牧推進委員会との分ち合いでの問題点は

- ① いろいろな研修に参加したいが、中堅者(勤め人)は困難

等、他教会と共通する問題ばかりでしたが、一つ一つの内容はそれぞれの教会の環境によって違い、解決策は一つではないようです。

中和田教会の諸問題についても、ゆっくり時間掛けて皆様(信徒)と話し合い、前向きに解決して行くことが大切だと感じました。

そのためには、一人でも多くの方が教区の研修に参加し、いろいろな情報の中で検討されることが肝要だと思われまます。宜しく願いいたします。

2. 委員会後記ならびに委員会に対するご意見・ご要望について

(1) 委員会後記に対してご意見・ご要望承り

「委員会後記」は、教会委員より「広報の委員会だよりは審議結果だけが掲載されているので、委員会の雰囲気や議長である委員長が伝えてはどうか」との厳しいご提言をいただくとともに、「マリア会・ヨゼフ会の解散後、委員会の内容が伝わってこない」等のご要望も聞いており、06年1月より掲載させていただいております。

内容は、「なぜ今月審議するのか、その考え方は、そして皆様にご協力いただきたいこと」を中心に記しているつもりですが、紙面にも限りがあり説明も十分ではないと思われまます。

今後継続(廃止を含めて)していくためには、経験豊かな皆様からの「ご指導・ご鞭撻」をいただき、分かり易いものにして行きたいと思われまます。

(2) 委員会運営に対するご意見・ご要望承り

(1)(委員会後記に対してご意見・ご要望)の機会を利用して、皆様から「委員会に対してのご質問・ご意見・ご指導」等を、お聞かせいただければありがたいと思われまます。

委員会も2005年1月よりグループ活動を中心とした、運営が(順調に)進んで参りましたので、ご意見をいただく良い時期に来たと思われまます。

(3) 募集

「2006年中和田教会ご意見箱」を設置しました、委員会後記・委員会運営に対して「ご意見等をお寄せください」お待ちしております。書式・内容はどんな形でも結構ですが、ご意見者のご芳名をいただければありがたいと思われまます。いただきました「ご質問・ご意見」は、委員会で検討し今後の運営に供したいと思われまます。

ヨゼフ会だより

< 6月18日(日) 13名出席 >

■ 連絡/報告事項: 省略

■ 審議事項:

- 8/26に行う黙想会のテーマについて: 議論の結果、テーマ選定自体はペトロ神父様にお任せさせて頂くこととした。6月中に大まかな段取りを決めて、信徒の皆さんに提案していく。参加人数規模の把握が先決。
- 黙想会テーマの議論から派生して、『主日ミサ開始前に御聖堂内がいつもザワザワしているのはどうしたことか?』が話題となった。ご意見のいくつかをご紹介します。
 - * 各人の信仰に対する考え方問題なのではないか
 - * 昔の教会は、御聖堂に入ると身が引き締まる思いがしたのだが、...
 - * 中和田の教会建物では、そのような雰囲気醸成が難しいのではないか
 - * ギリギリに来る人が多い。委員会の呼掛け『15分でも早く来よう』はどうなったのか? ⇒ いろいろ異論もあり、あまり進んでいない。
 - * 所詮は、皆の気配りあつての話
 - * 朝、顔を合わせていろいろ連絡が必要なこともある。別に世間話などしているのではない。
 - * 容認しなければならないこともある。目くじらを立てる必要もないのではないか。
 - * 長い目で見ていきましょう。

■ 当番表確認

広報 なかわだ 第325号

7月の予定

委員会	7月9日
ヨゼフ会	7月23日



ドイツ・ケルンの大聖堂

2006年 7月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成18年7月2日



新緑から深緑へ

パウロ 高野 哲夫



7月に入りました。梅雨が終われば本格的な夏の到来というところでしょうか?

先日、子供達は自分達が植えたジャガイモを収穫しました。種芋を植えて間もない頃は、「まだ出ない、まだ出ない」と心配していましたが、最後になると葉が青々と茂り、「こんなに葉が出たら、芋は育っていないんじゃないか・・・」などと脅かされもしました。そんな言葉を受けながらも、ジャガイモに養分がいくように花を片っ端から摘んでいきました。途中で、私を安心させようとしたのか、それとも自分の好奇心に負けたのかは定かではありませんが、フライングをして、・・・ほじった人がいたとか・・・。結果的には、豊作?だったようで、「やはり、取れ立ては違うねえ～。ふかして塩を掛けただけでもおいしいよ・・・」というコメントもいただきました。ほっと一安心です。神に感謝!

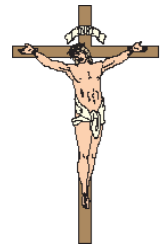
春に新緑だった木々の葉は、だんだんと強くなってきた太陽の光を浴びながら、深々とした緑色へ、薄く柔らかな子供の葉から厚くごわごわとした大人の葉へと変わっていきます。それは、葉が葉としての役割を果たすために必要なプロセスなのでしょう。ジャガイモもまた然りです。



私たちが信徒としてキリストの背丈まで成長する過程においても、やはり新緑から深緑へと変わっていくのでしょう。柔らかな新緑の葉の時は、雑草を抜いてもらったり気に掛けてもらったりしますが、深緑の葉になると、葉が茂って土の部分を覆い隠し、雑草自体を茂らせないし多少の雑草は気にならない程になるのでしょう。しかし、そのためにはしっかり水分を取りながら、強い日光を耐え、受け止め、吸収する必要があります。

キリストにしっかり繋がれて、青々と茂ることができるよう。

・・・でも、・・・葉が一枚だけじゃね・・・沢山の葉っぱが必要なんですね・・・



大日様とマリア観音の不思議な思い出

鶴田 恒之

新宿から中央線にのり、甲府駅を過ぎると蒸気機関車に何時しか替わる。あえぎながら山坂に掛かり、K駅で乗り換えてN駅を過ぎると左にハケ岳を見て下りになり、信州に入る。古びた駅で降り、駅舎に入ると新ストーブが焚かれ、訛りのある日舎の言葉が聞こえる。

戦後まもなくのこと、放浪の時代、六十年も前のことです。千曲川をさかのぼり、源流に近く、左に金峰山を望み右に仙丈ヶ岳を見る。谷は深く、川音は下から沸きあがってくる。

其処にはK村と言う村があり、人口は百人足らずだが毎年大きな祭りが五月に行われて居た。子供たちは村の小学校に通い、他の村の生徒とは一線を画して共に遊ばず、大人たちも法事や婚礼、道祖神、御柱、小正月等、孤立した生活を送り、現在も他の人たちとの交流は少ない言う。

K村は平家の落人集落と昔から言われ、隠れキリシタンとして伝えられているが村人たちはそのことを知らない。

フランシスコ・ザビエルが来日し、ゼウスを大日と誤し、当時大日如来と混同、多くの人々が信仰する様になった。村の入り口にお大日様のほこらがあり、マリア様が幼子イエス抱き、胸に十字架をかすかに見ることが出来る。

神学校の生徒が訪れたと言うが確かではない。今は川向こうに移され、今でも風習としてオダイニチサマのお祭りがあると言う。



委員会だより

< 6月11日(日) 9名出席 >

■ 行事報告：略

■ 連絡事項

(1) 行事報告：省略

(2) 行事計画：

- ◆ 8月13日(日)・聖母の被昇天ミサ：水曜日だけで繰り上げて行う
- ◆ 9月17日(日)・敬老のお祝いをサロン形式で開催。ヨゼフ会例会は翌週(9/24)にずらす。

■ 各グループ報告

(1) 下村委員長：地区別懇談会(第五地区：6/4に鍛冶ヶ谷教会にて開催)

出席者は主任司祭、委員長と財務担当委員。詳細は「委員会後記」を参照下さい。

(2) 典礼G・(布教G)：* 6/4 典礼委員会報告

☞ テーマ：「次回7/30 典礼G ミーティングに向けての準備」(主日ミサ典礼に関して分かち合い)

- ・ 奉獻者席を作る。(朗読者席に加えて)
- ・ 祭壇の片付けは侍者が行う。(7月大人の侍者が指導する)
- ・ オルガン後継者を考える。(時間を掛けて検討)
- ・ 黙想時間の充実(聖歌CDを流し黙想する)

(3) 行事G：

- ☞ 5/28 にバザー委員会を行ない、日程・段取り等の骨子の策定を行った。広報に掲載する。
- ☞ 敬老のお祝い：9/17に行う。7月の委員会にて段取りを提案する。

(4) 広報G：

☞ 山崎神父の追悼号：協力ありがとうございました。

(5) 財務G：

☞ 山田さんより業務の分担に関するコメントあり。

(6) 要理G：

- ☞ 6/18 にジャガイモ掘りを行う。8/2の奉獻でつかう。
- ☞ 夏期学校：泊まりでやるかどうかまだ未定。
- ☞ 一粒会：神学生と第5地区子どもたちの交流会
 - ◆ 5/20 に担当者全員集まって打合せた。
 - ◆ 浜田助祭、宮内さん、ネルソンさん(戸塚教会)の3名を神学生として予定している。
 - ◆ 7/2 までに各教会で参加人数を取り纏めて報告。
 - ◆ 7/8 に各教会の担当者全員集まって、最終の詰めを行う。

☞ 8/1-4 練成会：3名参加の見込み(7/5)

(7) 営繕G：

- ☞ 大和市の古物市：ソファの抽選を申し込んだ。
- ☞ 管理運営奉仕者コースで担当委員研修中。



自由発言

- ☞ 月定献金に関する議論(継続)
- ☞ 入門講座の変更(高野神父様より)
 - ◆ 6月23日より 第二・四金曜日 午後
 - ◆ 7月より(開始日未定)・毎週土曜日 午前
- ☞ 「委員会後記ご意見箱」を設置
- ☞ 秋の研修コースの募集の件 入門指導者短期要請コースなど(小山さん)
- ☞ バザー準備の買い物は10/21、ガスコンロなど道具が傷んでいるので買換え要

06年6月委員会後記 委員長 下村 毅

1. 地区別懇談会について

横浜教区では経済問題(財務関係)・教会建物建替え問題・宣教司牧研修について、教区の考え方の周知と小教区からの意見等を収集する目的で、地区別(神奈川第一～第七地区)に懇談会が開催されております。

第五地区は、6月4日(日)鍛冶ヶ谷教会で行われました。(各教会は主任司祭・委員長と財務委員が出席しました)

当日は、(横浜教区の)教区経済問題評議会・教会建物委員会・神奈川県共同宣教司牧推進委員会の合同で、行われました。

a. 各評議会(委員会)からの説明は

(a) 横浜教区の教区経済問題評議会(菊名教会・谷口氏)

「教区財政の健全運営を目指して」2001年4月に評議会を立上げ、2006年5月現在その成果が現れ「赤字は解消した」と報告された。なお、教区経済問題評議会から「次の内容を知りたい」との要望がありました。

- ① 月定献金、ミサ献金の増収について各教会で尽力していること
- ② 財政面において各教会で工夫していることまたは苦勞していること
- ③ 外国人コミュニティがある各教会については、その財政面での協力の有無

(b) 教会建物委員会の説明(藤が丘教会・茂呂氏)

建物委員会の役割は、教区内の教会建設に関して、計画段階から小教区や地区代表者と話し合いながら、教区全体の状況を踏まえて検討している。

- ① 各教会の自己資金は建設費の25%は必要

(c) 神奈川県共同宣教司牧推進委員会(藤沢教会・鈴木勤介司祭)

宣教司牧推進委員会の研修概要について説明がありました。

共同宣教とは、司祭・修道者・信徒が共に手を携えて、信仰の喜びを人々に与えて行くことを目的

お知らせ



◆ バザーのための作品作りを、第1月曜日に加えて第3木曜日にも実施することになりました。

◆ バザーの食堂部門で使う調味料、油、砂糖などの寄付をお願い致します。

◆ 「2006年中和田教会ご意見箱」を設置しました(教会委員長より -- 委員会後記 参照)

委員会後記・委員会運営に対してご意見等をお寄せください。

書式・内容はどんな形でも結構ですが、ご芳名を頂ければ幸いです。

頂きましたご質問、ご意見は、委員会で検討し今後の運営に役立てていきたいと思っております。